

9月議会の日程

「第三回定例会(9月議会)」で
一般質問!!

9月議会の日程が決まりました。市民連合からは私を含め、4人が一般質問を行います。私は、9月8日(水)午後2時からの予定です。質問内容はまだ全部確定していませんが、下記の項目を中心に1時間の質問となります。

- 9月1日(水) 開会
- 9月3日(金) 一般質問開始 ~9月8日(水)
- 9月13日(月) 予算決算委員会・総括質疑 ~14日(火)
- 9月15日(水) 予算決算委員会・部分別常任委員会
- 9月22日(水) 予算決算委員会・分科会長報告
- 9月27日(月) 委員長報告、質疑、討論、評決、閉会

質問項目(予定)

1. 環境問題について
 - ・江津湖と立田山・金峰山の生態系
2. 教育、福祉問題について
3. 外国人労働者問題について
4. 熊本城の特別見学通路
 - ・濡れても濡れないミスト~冷シャワーの活用
5. 多発する公共工事中の事故の予防について
6. 教育問題、福祉問題について
7. バリアフリーのマスタープランについて
8. 災害時の避難対策について
9. 化学物質過敏症について
10. 外国籍児童の障害児支援学級在籍について



Check!

『New & Goods』の意味、いま一度!

私たち日本の障害者運動はアメリカの自立生活運動にとっても大きな刺激を受けました。アメリカの自立生活運動で熱心に行われていたのが「ピアカウンセリング」です。「ピア」とは、「仲間・同僚」を意味する言葉です。アメリカで障害者の自立生活運動を学んだ日本の障害者運動のリーダーたちが、障害者の社会参加に絶対必要なエンパワメント(内面から湧き上がる力)や自己肯定感を獲得するために、アメリカと同様に、「ピア

カウンセリング」の手法を取り入れました。小グループのリーダーが参加者(10名ほど)に問いかけるときの言葉、それが「New & Goods」なのです。

意味としては、参加者のそれまでの人生の中で、「良かったこと、嬉しかったこと、嫌だったこと、悲しかったこと、新しい発見だったこと」を指します。

さて、あなたにとっての「New & Goods」は何ですか!!

市議会議員 村上ひろしの NEW & GOODS

vol.
7



◀村上ひろし公式ホームページ

〒862-8601 熊本市中央区手取本町1-1

TEL (096) 328-2650 FAX (096) 324-7777

2021年 8月発行

市 政 報 告 会

熊本市議会議員 村上 博

2021年7月24日(土)、熊本市中央公民館 大ホールに於いて、講師に田中一幸氏(里親専門相談員)と黒田信子氏(優里の会理事長)をお招きし、「フォスタリング(里親) 機関ってなんだろう?」のテーマで市政報告会を開催しました。感染対策として50名の入場定員で、果たして何人の方が来てもらえるのか、とても心配しましたが、何と46名の参加をいただきました。

■ ギリギリのタイミングで開催!!

『TOKYO 2020 オリンピック』で日本選手のメダル獲得や活躍に国民が沸いています。

その一方で、新型コロナの感染拡大が全国的に続いています。

全国で1日の感染者が1万人を超えました。特に、東京では、昨日(7/29)これまでの最多となる3865人が感染、今後どこまで感染者が増えるのか、とても心配な状況です。熊本県では63人が感染(うち熊本市40人)し、警戒レベルが最高の5に引き上げられ、その後、「まん延防止等措置」を発出。期限は8月31日までです。

こうした状況でしたが、7月24日(土)に熊本市中央公民館で市政報告会を行いました。定員200人の大ホールで定員を50名に限定し、46人の方に参加いただきました。もちろん、消毒、検温、マスク装着、席を離すなどの感染対策をしっかりとって行いました。

感染状況が急激に悪化しつつある中でのギリギリのタイミングでした。



講演に先立ち、参加頂いた皆さんにお礼の挨拶





フォスタリング(里親)支援ってなんだろう?

「フォスタリング(里親)って何?」というテーマでお二人の講師に里親制度と里親制度が必要な子どもたちのことを話して頂きました。

里親専門相談員の田中一幸さんは、子どもたちがどんな状況で生活しているのか、また、「優里の里」理事長の黒田信子さんは、熊本県では里親登録数がまだ少なく、里親支援がまだ十分ではなく、家庭的養護の要である里親を待っている子どもたちが多くいることを話されました。



左：田中一幸さん 右：黒田信子さん

■ フロアーからの質問と感想

講演の後、フロアーの参加者から質問や感想が述べられました。

講演後、お二人の方から質問と感想を頂きましたが、参加された方の多くから、お二人の方の質問内容と感想に感動した、勉強になった、などの声が多く寄せられ、とても実のある報告会となりました。

私は、報告会を通して、子ども支援の重要さと共に責任の重さを実感しました。今後も子ども支援をライフワークとしてしっかり取り組みます。



初めて自分の出自を明かし、質問と感想を述べられる参加者。今後の里親支援にもしっかり取り組んでほしい、と要望。

学校訪問

4年生 総合的な学習の時間「いろいろな立場の人への思い」

講話 車いすの立場から 障害は不便だけど不幸ではない



熊本市立大江小学校の4年生の「総合的な学習の時間」の一環で、障害のある人がどのような日常生活を送り、どのような生き方をしているのかを子どもたちに考えてもらうための講話を依頼されました。

パラリンピックで障害のある人が頑張っている姿を目にする良い機会ですから、車いすマラソンの話にも触れながら、自分自身の人生が変わったエピソードなどもお話ししました。また、全員に車いすの体験をしてもらったり、覚えやすい簡単な手話やその成り立ちを話しました。

日常でどんなことが不便であり、バリアフリー環境が増えてほしいかなどを説明し、助けを求めている人には子どもたちなりにどう対応すれば良いか、また、「かわいそうだ」と思わないでほしいことなどを伝えました。



熱海市土石流災害募金

今日も17:30から、上通り入り口のアーケード街で、熱海市の土石流災害支援募金に参加しました。

若い青少年たちからの募金が多かったのはとても嬉しく、清々しい気持ちになりました。

もちろん、他の各年代の人たちからもたくさん募金頂きました。

募金をされる方々からは労いの言葉を頂き、ホッとすると同時に嬉しくなります。



「ちいーつとばってんな」と人生の先輩から。なんのなんの、それが積み重なるとですよ!



募金に感謝!!



右隣りは、上田芳裕 市議会議員



本日の募金額は、48,957円でした。

熊本市内の盛り土

熱海市で発生した土石流の凄まじい破壊力は、大きな岩や住宅を巻き込みながら駆け下り、海岸線まで到達した様子が、映像を通して何度も目に焼き付けられました。

私は、この熱海市の被災をテレビ映像で見て、同時に熊本市内には盛り土された箇所が何か所あるのか心配になり、早速、熱海市の事故翌日、担当部署に尋ねました。



今日(7/28)、都市建設局の担当者から連絡がありました。

熊本市内の盛り土された箇所は90箇所あり、伐採された箇所が23箇所、合わせて113箇所あるとの回答でした。

ただ、雨が降って、熱海市の土石流の原因となる様な違法な盛り土ではなく、雨が降っても直ちに熱海市の様に土石流が発生する様な状況にはない、との報告でした。

